

編 集 後 記

50周年記念誌編集委員長
イサク・山川宗雄



2010年10月30日は、首里聖アンデレ教会設立50周年を迎えることで、2009年8月2日、教会委員会で50周年記念誌編集について話し合われました。教会委員7名が記念誌編集委員に決定されました。編集・発行予算の資金については、広告欄の掲載は行なわず、信徒の力で自主編集に近い話で、経費も軽々に止めるようにと話し合われました。

10月には、50周年記念誌の編集スケジュールを委員長から提案し検討され、原稿依頼、写真集めの日程も話し合われました。原稿依頼は、仲村實明主教、谷昌二主教、歴代の司祭と、他の関係司祭、教会建築設計士、現教会信徒、旧カンタベリー・クラブの方々にも原稿依頼文を発送致しました。

現在の首里聖アンデレ教会の信徒には、教会設立当初からの信徒は少なく、住居の移転により、他教会から移籍し首里聖アンデレ教会で年数の浅い信徒方には、50年前の教会設立当時の記録を語り合うには無理がありました。でも、山本貞彰司祭(当時執事)、西川正文司祭(当時執事)、カンタベリー・クラブの諸兄姉から当時の活躍やご回想の記事が早々に届けられたことが何よりも、勇気付けられました。有難く感謝申し上げます。

首里聖アンデレ教会の幼少期の歴史資料、教会委員会記録、信徒総会記録、礼拝日誌等の資料が不揃いであったので、日本聖公会沖縄教区発行の「聖公会の歩み」(宣教25周年記念誌)、三原聖ペテロ聖パウロ教会発行の「ひかり」(宣教50周年記念誌)、新城喬司祭編集・沖縄教区発行の「聖公会沖縄宣教小史」等を参考にして、教区事務所歴史資料室保管の沖縄聖公会「聖公会時報」をも参考させて頂きました。

首里聖アンデレ教会設立幼少期の兄弟姉妹の情熱と信仰を土台として池原貞雄司祭、新城喬司祭方の発展期に引継がれ、現牧師の姜勇求司祭と共に教会を守り、導かれ、教会設立50周年を迎えた信徒の「証し」や首里聖アンデレ教会の思い出をまとめたこの記念誌が、これから25年、50年、後々の首里聖アンデレ教会の成長に少しでも役立つことがありますようにと願っております。

結びに、お祝辞や激励のお言葉を賜った主教はじめ、聖職の方々にお礼と感謝を申し上げます。ことに、写真収集では司祭方の貴重な写真をご提供下さり、大変感謝致しております。また、原稿・写真を電子ファイル化してくださった大倉信彦兄、電子ファイルの分類・整理に際してご尽力くださった姜勇求司祭、そして校正を手伝ってくださった宮里和子姉と大嶺清子姉に感謝致します。

2010年10月30日